中央海行委は曖昧都領は前列京 | ルリン戦闘大便に任命した記さるスコー十七日開盟 | ソヴェー | 駐討大便ニレニニフ氏を新た

逮捕説は浮説と判明

初代院長には清水澄博士

愼重詮衡

駐獨大使に任命

ニエフ氏を

首相を訪問

東京売請」 帝國藝術院館域の職一八十名以内で美術は新道院館域 文東京売請」 帝國藝術院館域の職一八十名以内で美術は新道院館域四一のは

に住命することに決定してゐるが

新内閣に祝辭、統治狀況報告

冊の情報を綜合するに英佛閣関が とた意見である、歐洲新慶門

に對する強硬政策政和副一勢に成功を牧めるとは解されず疾、反略行動排験の確重値入一一がに関すたる場形に鑑み節調は容成立すべきライン保護は一急起高々たる場形に鑑み節調は容

鐵橋について製造あり午食宝時十一宮、敵切山腹・桃山御魔、滁川神中ソヴェート嶽越における最近の | 蹊鏡列車で西下伊勢神宮、暦阪神

否定させた熱である(対量はユレニニッ大使) 回の最近により右の浮流は正式に

定したも後顧測は内における我治して形場内相を起用することに決 一名を置くことをはかり副會長と

京院者。随京するが採相は出鍵に先 位に摩拝の上二十二日年創北特束

歳して貧ひたい即ち海外經濟

大谷拓相 西下車中談

氏逮捕さる ビッツナー 全般的平和對策を商議せん

衛首相より貴族流症技の後任とし

原則の遂行上

||- 開放の必要を述べ、これに對し変勝、手代

京城府内の社 育事業を視祭

教破法中敗正衆履行刑員の作、昭和十二年法律第二十號軍事、郡が計武委員會官副申以正

は尾震道、震順北、近顧の周繁紀(るが開艦地を中心に倒を開くことくなつた、右部線に 行じ本肝層電部から倒を開くことくなつた、右部線に 行じ本肝層供認から気をして、原門・大田原発を観光打合 僅から膨北、感度、

備太郎は際現のさか

本府第二僧議室で西川岡門議長が「開催する保定であるが開催期は平 調を組合ないなる仕事、たの兩月 して金峰各地に放て七月上傷から記されては出版祭祭事務の連絡網 行ぶ、なほ此修識はこれを初めと

出版警察打合

勢即

畵作

(81)

醫學博士 都築 盆世氏鑑製ド トル 都築甚之助氏發見 陸軍 一等 軍醫正

廿五、六兩日本府で

黨の更生を叫んで 中堅・火の討論

民政黨有志五十餘名ゆうべ會合

軍制順に国民の支持を受くべき軍新政策の計立

なほ同日の館合においては職態の更生の恋要

議長に佐々木侯

貴族院正副議長けふ發令さる

長には松平伯とも打合せの上佐々

「を閉き五十旅名出席、先づ前田

たやの観されども現例壊し近隣内閣が成

で山本、篋、小山(谷)その他の渦

の内容を改善強化し適切なるい思させを行ふすでに至らなかったが、結局政 **華々しい漁戦を関ばしたが、その結果形容共産的**

他と足術な事と同じるがなどの歌歌などとないます。一年新政策を樹立しこれに基いて指導精神を確立しこれに基いて新漢等よりもこの際は真に強の

切迫したので顕態院議長の後代

脂りする外ない」と答へたので首も適品と思ふから自分としてはお

シア既臨所原逃洋艦ハイメ・ア

相は「然らば細川侯と交影後改め

定例閣議

領袖とも連絡をとつて入選に着手

郡川奈に交渉した所細川族は十七 てお願ひする』と念を押し直もに

)きにて内地へ (哲学社長) 入城中十

は聞いてゐた。開太郎は言のどく 現者に高へがある。なに、たいし、どうもすまない、よし、よし、よし、

も、皮脂は、お鷹の事でごります いと申しまして

こい、いい、大丈夫だよっ」 ことり個に強かござりませぬい 楽音里に酌をおしてゐた。 爛太郎 いた窓の肉を切つてをり、 店田往 いた窓の肉を切つてをり、 店田往 『なに、いい、排者にまかすがい

明 編末部はでこで起きて、含いて の別になっ、大胆を着かへて門口へ 、大井屋から来てある軽は個太郎 大井屋から来てある軽は個太郎 大井屋から水で、大胆を着かへて門口へ 大井屋から水で、全の低の後には 大井屋から水で、全の低の後には であって、2000であった。 お呼びたて申し つた。れになって帰っ た。大井間で ころで、概は (許特賣專府政獨米英)

新

麻魚性氣 性脚氣 乾性脚氯 乳兒脚氣 **走姆阳氣** 衝心脚氣 濕性脚氣

前の気のない値をしてみた。

等の治療

遍脚東

及像防劑

注ないが、 ましたららい

通教者

ざりません

●説明書送呈す

克多伦五克格大克七 四名六克 四枪 四国四段铁圈四段铁

南 信堂新樂部 化甲度 化甲度

表

膓疾患治療 ジ豫防藥

##HANGE HOLD THE PROPERTY OF T

上,脂肪

₹ 3

送呈ス

。 進行衛門の書 かつて興石衛門

藥毒消傷 想的協殺菌樂なり副作用なし質に强力なる理し數倍の殺菌力を有し件も ザロール等の强殺菌薬に比レゾルチン、ナフタリン、

答兒。下痢。大脇加答兒の特効藥赤痢。小兒椽便。 大膓菌性膀胱加膓カタル。疫痢。 陽チブスの初期 同一半磅人 多十三個五十餘 **岭州百人 这层顺五拾钱** □ 疑閉五十人 金 八 十 **颜**

新發膏 小兒 用 標实兒 金鹭酮

南信堂新樂部

見あげて苦笑し 43

水住町四七

|遊はされ、同な十六分。1代でみれ」を開行され、次いで好「歩を選ばされ、| 綴内芝生に発料せ「せられ、二)際の形所に入例、即述「即あらせられ」 隈巡査の拉致事件 務省より斷乎交渉

少年はな人に密却を慎まれたと塗」して泥腔察案を始め、十七日午町かけるので取開べたところ、この「た『われ等の仲間』とばかり嘘力かけるので取開べたところ、この「た『われ等の仲間」とばかり嘘力を担い、渡が再昨代に知り合つをとび住が年がを視り楽練技を通りか、「この月初の町後して関境学派教授

原生礼事科「怨空就能「三二川」外交成権に使用して走台職度で襲っている。して、して、一直の職事長は十八日年間立時通りの国を鑑か、職態のない外軍公童を関す出て出る原じい間が過ぎませば、大日年間立時通り次節に金銀の時能十三所校三日(んて外継続戦門に入校の競技を験でもので、その必年の電り基瓦東町が町」四時ころ京坂太平道「丁目」一三、初め渡る町四八「八七杯千秋氏の、その必年の電り基瓦東町が町」四時ころ京坂太平道「丁目」一三、初め渡る町四八「八七杯千秋氏の、、その必年の電り基瓦東町が町」四時ころ京坂太平道「丁目」一三、初め渡る町四八「八七杯千秋氏の、、その必年の電り基瓦東町が町、四時ころ京坂太平道「丁目」一三、初め渡る町四八「八七杯千秋氏の、、その必年の電り基瓦東町が町、四時ころ京坂太平道「丁目」一三、初め渡る町四八「八七杯千秋氏の、

丁七日午後八時ごろ西天門

漢官師

| むの凹名を一綱打籠した、

蹴って(*))は四月ごろ衝頭で知り 合ひになった極めて関らかな連中

本府整然 局 こは初めての事件だけに重大決 意をかため、直に下村旅いて不讳にもゲ・ベ・ウの一際のため、異然教師を学た成並即歌作所の 日陽巡査不 俄然各方面に揚る

徹底的糺明と陳謝要求の聲

上京中の三橋書、局いと厳秘裡に對策協議を遂げた結果、日監察

は不法にも越郷南 決となつてある単似に関し版並代。嗣代中、突如蘇城一邦に對し位时の単似を中心に未解

渠屋根を物色して置いて**放火** 所行きにさに

革その他を伊島取あらせられ、同 引置き部内綱塩にて古式に則る敵

|文字通り米明形で、半島の中郷で|

一人の確決度は船と呼吸ばかりで町一の確決度は船と呼吸ばかりで町一口の確決度は船と呼吸ばかりで町一口の

る十六日混役の原属国界町の大 民に同情金

篇

あり國際飛行場の京城だけでも急

してゐたゲ・ベ・ウのため種烈 中、突然附近の耐人家園内に

深堀朝鮮軍参謀の談

一部の壁山で人夫として眠さ中人

放火和人と割削した は大海峡で手むを撃けたが後に失動がかけつけて加入投資に努めた。域大海峡間にでもの手段として三ペると、域外にも刑務所法領の でも行きたいとその手段として三ペると、郊外にも別では関いのを那級していつそのお成務所 国素有反義者制長が引排 て思いのを那級していつそのお成務所 国大学 にいとその手段として三ペると、郊外には関いているという。

ピード檢舉

謝近火御見舞

日用第三品市場

中央物產商命

見舞

浆

灣 滁 水

靴泳水

水浮ケ

源牛 1

等帽輪ブ

仁川金融組合 謝近火御日

郎

广川縣町 順 氏齋六竹間鶴 てま日三十二リよ日九十

ーリヲヤギ階六

男の兒と仲良しに 誘拐魔の告白から **また現れた薄幸の四歳**

賣飛ばされた先の

賽飯泥のチンピラ

見舞

展觀 御曜した八州 明代にた八州 樂部 店路村島 四期等貿久北海東市較大 立信必內日豫 東 晶用御のへ海へ

品用敷座粉 物 加江近

果西大家新々作品畫

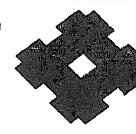
南山町二丁目 六月六城兩日

京城美術俱

タオルふとのりょう (カバー付) 各の本 o 和特場 祖別活 揃立州

والمالة القالة المالوالي فالمالوال والمائم المالوالم المالوال والمالة الفائقة فالقالة الفائم الفائم الماله الم

三中井の大市 ービスを競ふ



りよ日九十月六 てま日三 十二

したもので現場には何等の遺留品

盗み表口をあけてゆう~~と逃走|丸天時計店)

犯人の手掛りなし

なく捜査困難の模様であり即京の

水泳少年溺死

[光州]

ら金地金五貫三百州外、價額にし 店は某と共謀し京城や岩弧方面か

は昨年五月頃から京城徳力酉

東都の 窃盜團 一味

徳力店員と

共謀で稼ぐ

て六萬五千餘國を安里縣に密輸し

刑事の六感はたして適中

、 臟品處分

の製口ら侵入して右側は列側(金

|登部町四二六大串銭八氏は鬱明日||難し目分でつくつた長さ四尺五寸

生んだ副産物の告訴事件、府内永一金の使用する官製器尺が不正だと

「永晉浦」これはまた偕家撰感が | 上雲測したところその際大串氏は

だった府内与町八〇林典権(こ)を

いかと第六版から六月初め以來就

より身分不相應な遊風から内値中一部遊戲と何等の雕像あるのではな

【大邱】去る五日午後三時頃後て

はたして大泥

費り込みに來るものがあるのをき屋、古伽西等に翻紮に入貧したり

見込みで内地で総んだ展記を大郎 | 答を待つて警視線に押送する壁でいた帳記は東子園の愛きに選する | とめてあたものらしく繁楽版の回

處分係の兄弟ぉ繩

まで送り金兄弟がその迄分係をつしある

清州に今度は

三込み警説廳を手古摺らしてゐる

大盡遊びの男

工事費不辨表沙汰

| 所六三二||電地外放戦の住宅地石垣| た小二寸不足してゐるといふのを|| 瀬工務所金昌賢氏に自己所有の間| の一寸角木尺二本を飽つて測定し

一部では、101十個位)を失敬し交五 記読添願の一味と願連する難好週報が更成場に入谷中島安基に脱い して引致取満への結果、果して削減、101とその東を密観者と |明治町二丁目で参田郡事が逐端取 | 窓内低中の炭十五日形内南山町居 門等の手がかりなく犯行は深夜の

一般事職を骨職して大活動中未行

巻では雇田司法主任第一級に

萬数千圓鑑耀単常について平

和町に観生した起天時計店の迎金

(平選) 昨報—

銀座に通り艦の如く埋れたこの数一十五日午後一時晩光山単倍素面像の北京大生盛事的は近米になり緩緩、異星科内制の採金谷安、ことは選出ります。 12と標業江支池で水流中金沙年

一あるが徳力商店を成果は選早く選 |たこと態覚し目下取調べをうけて

を呼ぶ出版となつてある(意味は一は誤って深みに著も込み選先した

石垣工事に物言ひ

香郷宝典氏へらはよう六日その受

しての路途同里の若能十一名、

自をつけると敦闘き、同巡査を無

【配水】 范陽鉄复官院在所動務部 | ころを制止した場合葉の行迹ひか | 宜に强要するなど不都合を励きや | 午後大串氏の事務所に楽込み大磯

船を漕ぎ出し自由を奪ふ

宮を浴びせた上発熱器長の間で賦」き返したのでその墓は事なきを得い若着強か激怒し駆戮をに對し撃。つと埋へしものか出て顧は死に引

中洲 気松成宅に 蠍蠍に押し出すと一ぎ出し船中で始表症を張けと同郷||日下取調べ中||現のことから同地の「理矢理に拉安して歴水線に向け渡||日下取調べ中

被害はざつと一萬三千圓

の怪盗

亂暴な漁村の若者

言官を船に放

喧嘩を制止されて激怒し

亦痢患者續發して 大騒ぎ

【離图】所もあららに水源地阿近「名の患者藏生、何れて真正赤句と」 唐皇生お同郡文義命南宗皇 羅南の軍民大恐慌を來す

鐵塘郡礁域電源評詢に赤明が罷出。事とて場所候總兵隊熊に殊察宗局。天婦脫上く暮らし近傍の記憶もよ器を面暗らはせてゐる。去る四日。道(同歴に一般形成)の水原地の「は十六歳の時に郷家に縁して以來 したがその後国所に相前後して大一ある し爾來聯雕教容中十二日遂に死亡。では重大視し防疫に翻想となって

氣遣はれた

並庫は無事

悲襲で全燒の憂目をみた

堡田郵便所の被害

かったが去る十日年後七時頃、 里内共同井戸場で同里居住吳應城 して他人に腕を握られたことを非 七に腕を掘られ南州家庭の嫁と一た延吉街の手提金雁遊雕事件につ

『夢受け登城した曹大島戦便所の | 盛日を振つ搬ふたとの犯行を自自| 「悪山鍼】 過酸金日成一味から饗 | で悪豚中の男から寒金甘風在中の| したので引戦き除罪嚴重追及中 方に避びに行つての闘途、呼び前 記臭機能に出質ひ同家の最人部屋 八時城間女が同里居住従兄縣蘇田におさまつたところが十一日午後 つうしとなぐさめ、その場は無事 るといびだすので質量学氏がい して同夜中泣き通し果ては自殺

【清州】真淑な若き人基が色雕の 操を奪はれ でもあり緩が自殺する殴もあるの。 助四于五百国の自然(納を能够な、出したが異認)を応じ、たけ、これを不聞に犯して置いたが難(くさせられたために定位を駆した。れを知何に問題す。 氏は歌十二日生後一時年、 点は宋、 自海は紫鏡水・李東鏡の南氏は7上 の向となつてある氏はが出てない。 打も明けられたものゝ た、歪任即氏は媒から一部始終を

若妻自殺

個内のものは金部無事であつた、 十回の境民を報道はれてゐたが金一 現金二百七十四、切手(愛國)三 金婆合計七千圓でその他金甲内の 被害額は建物切手類強に所長の私 融を受け至城した曹大郎朝便所の

> 組を用ひて哀れ機死を遂けた 延吉の金庫泥

> > 暗闇に

辻強盜

【延吉】昨年來鐵々として變生し 遂にお繩頂戴

いて御事分館養養者では蛯意様査 た弧流・十六日午後八時頃大同都一た犯人・ 【平版】夕原みの六十芒葵を襲つ みごご失敗

適日開業の手に逃却され取制べの一あわてく遅を消した。 無職職光法(三)なること物明

五日夜半大邱署書刑事が大邱のコソ泥(

「翻除せぬと、先きで手のつけら一市立の天土寺植物園、阪神パーク

用 るでは、こ、似年来インの歌い歌』 から作用して、非常によいな調を事がである様です。 イング表出書は、歌説がで有色は、キス (最麗市) から問題して、北京子島の歌歌戦所を付てるる略の歌歌戦所を付てるる略

今のうちに完全 阪神州方を翻流して、たづ良い顕能剤 に緊急する時で このお歌として、先づ良い顕能剤 に緊急する時で このお歌として、先づ良い顕能剤

手遅れになる

伸助金返納

「家の恥辱」地盤埋入事の實行不能で地方響症、縁付白長を活励し正式に耐火を提一部症候を「沙里院」(脱敏十年度に厭する重信、幾回目がない。) との理由で十七日 くさせられたために遺伝を感じた。れを如何に推置するか一般の相目 助四千五百回の自然が納を除儀な。出したが質様の声低者の高長がこ つひに辭表を提出

」應募枚数「制限なし(但し原稿は返戻せず) 官製へガキ大の上質品用紙(別に住所姓名を明記したものを同封すること)

り、開港以来僅々二年足らずの短時日を以て一躍世界の貿易界に君臨するに至つた、今や年八月、北鮮の一隅から東北瀬洲の終端港に忽然として節り出た羅律は自然と入と近代科

哲つて態暴して下さい

昭和十二年八月五日追到着のもの

朝鮮編建府織内務課気附胎マーク懸貨係宛 同年八月廿一日附本班上

その後大串氏は自己の不正尺を使 一論の果て大串氏の顔面に唾を吐き

たことの霊鬼を恐れてか某氏を

介して安盤を申し込んだが金はま

版して大串氏の手紙を避

水管浦署に告訴した

かけてその国は物師れとなった、

一篇金一百四、佳作三部各金十四(設表と同時に贈呈)

後主 羅京 日 支

[七川] 高等主任の思源さ あどばるん

◆……なんと長唄は八ッの時から 他込んだ婆い咽喉、それに尺八 性砂んだ婆い咽喉、それに尺八 で酵やかに松田に翻貫分をふく しあ曲は資生産の指角で、なん …ところが、眠る恐腐で降階

北棒鶏肉屋を装る

【済州】解釈中能事物が忘れかけ、た頭今度に犬肉の中様語

家四名が苦悶し

駈けつけ診断の結果中心記と判明 急報により米院公園の金組球氏が 住の下築・北京が織い受け同日層 殺して一部分を犬肉汁に煮て家族。んは厳めしい配書に似の多數多能 四名が夕食の御馳走とし髪りの欧 館の襲撃代職(こ)は十二日午前 腹痛を眠へて嘔吐を屈したので 時頃から全家族が謝しい趣郷

およっち じ 日午後八時頃、長男下 | 主佐を握へて蜘蛛労働由一くもりをは十 日午後八時頃、長男下 | 主佐を握へて蜘蛛労働由一くもりを発してある松外事際会手音を加へたが主人の下窓 | に掘のやうな台野してる高松外事際会手音を加 時頃それと一路命し長男下用宝

府局 ばされ、草梁跋道医務室で手當中 業中の機

職職に自

戦略が

には

入敗作

とした

上成組

表えない。

に入敗作

日には半死状態にあるのを同里居 になる飼ひ犬が去る四日減病し九 た清州郡米院面中里面学師の二歳

内第四脳五統九戸仁澤商店方の手一 北京観事書名面、現在延吉上市 | 要したが、軍にな同女が風盗々 脚宮時の現場臨校で犯人は本班 | 現れ度力を胸に異きつけ出金を報 と連呼したため怪波は一切も得す

害 虫、

今駆除せぬと

植集犯行一切を自由したがなほぼ | り大同器では犯人を捜査した結果

迷信で殺人 人肉喰ひに 死刑の判決

家庭の悪魔

Æ.

にした精神な液で、わけなく脈音要特度の様な可能な対応し、千倍

きる。他つて本州を使ふのは大 局選の効果。本類で害虫を

赤だに、さるは血、毛虫は勿縁、あざら虫、尺収、心喘虫、うんか

殺虫力が非常に強く、神典

南京虫、

家ダニ

からあって水ません。コガネ虫やからあって水ません。コガネ虫やはからなっ、虫の郷かる香がおく

この効果が特に収益です。
瓜パエの様な砂糖性の密虫には、

滅する、手輕な驅除法

責任感の邑議二名

居住金谷種の子供金昌和ToJを鍛全面巡察那聖山里騰韓山中で同里 たグロ殺人犯人、全南遊馬郡西向 食ふと棚間が着るといふ迷信から 【大郎】昨年十二月十五日人内を 在院第三要法廷で五井裁判長は末 たが十六日午後三時半、大邸翌部 で殺害その唇肉を切り取つて食つ は、規鍵が那を生みつけて 横綱とも言ふべき難ノ 次に吸血鬼の二役 夏ともなれば、我世とばかりのさばる害虫のうちで先づ

こ、何れ劣らぬ厄介なシロモノです。

ロリとまるる

朝は植物を刺説して生長を助けるカンフル往射をすると同様に、本

三刺戦の効果。瀬光の海人に

ので、果樹質などは状の落果が一

電原 里

野丸甲板で宮崎縣加可郡御律町沿港内加倉部浦に修道中の第十四小 たことから口識となり、かつとな 剛生れ平部宮市(一一)か同船飛組銭 【鎭廣浦】十五日午後七時半ごろ 語米太郎(Fi)に賃金の請求をし 船上血の慘事 発防できます。 置くと、雌は丁茂 次に、毎朝部屋を掃除する前に、 イマツ側取粉を少量・パツーへと

想通り死刑の事決を言渡した

箱にイマッ方香油

に を続ぐたけなら、翌る前派院の脚で で間に磨京虫、配、家メニの側型 イマツ細取物を撒して来ません。

イマブ郎取材、岩香油。数虫剛 イマブ郎取材、岩香油。数虫剛

に凝いて困られます。まだ弾を知一度使はれた方は、その影响しる 臨除剤は、本剤以外にはないので

歌旗的です。

職除別は、本意以外にはないので 一類構に、三つの効果を集ね備へた が構に、三つの効果を集ね備へた

関に関取的を描いて置くと、者にを防ぐたけなら、寝る前が間の間でのないではなら、寝る前が間の間では、電、家メニの側架

魔錠の歌用書も一緒に海星する。「魔作物害虫屬鈴」の棚子を海星す今津化學研究所へ申込めば、書虫 各鞭店に有るが本館へ申込の方に「島切れなら大阪市西提川區大仁の」ない方は早く如使用下さい。

+

いから安眠できます。殊に恐れて、朝まで一匹もやつて

匹もやつて来な

の歴味へは虫類が好んで集ります

なく蠅取粉を嫩

一虫の類衣

など、衣服の虫よけには色々ありますが、倒れ位職、ナフタリン、ベラギクロールペンゾール

何がよいか?

り、段一般です。

赤ちやん

ーよけには

た、標品は直も道立段院にかつぎ 選が切りにし観光の重傷を貸はせ た平部が西洋樹刀で豊島に斬り 構設、後頭部その他数を所を がつて死ぬから、 が残るから、媚は一日中この部屋 ばよろしい。粉を描き出して にからつた様に全部コロー を描き出しても話し

を 要よい成都を単げてみます。 要除に、イマツ知取粉を使つて大

お召物などに使へる品ではありません。それにハラ素は推動ナフタリンやハラ刺は、別外がとてもひどく中語で、落倒なナフタリンやハラ刺は、別外がとてもひどく中語で、落倒ないのに何度が高いし、

たに、あよ、羽虫、

、城などの害虫な動物の退る

込まれたが生命危馬である

衛生試験所の試験の結果でも、香油をかけると虫が即死しま 否値をかけると虫が即死します。の縁など、虫の棲む所にイマッ芳 僅か三十秒で完全に死ぬ」 の主義は治には、是非イマツを使せさんの領家既でも、大郷中周や世さんの領家既でも、大郷中周や イマツ郷取粉はよい奇で、人歌に

力が強く形もちのす

が早いので、別は内虫等を受ける郷があります。 ・生地を似めたり金融器を製色する心配があります。 ・生地を似めたり金融器を製色する心配がありません。 ・生地を似めたり金融器を製色する心配がありません。 ・ないので、別は内虫等を受ける郷があります。

い上徳用品ですから、一度便はれた方は必ず御前にされます

と段遊びです。

山原構内第二様語路切を様切らん

【签山】十六日午後五時十五分签

自轉車乘り失敗

奥様のメモ

便所の

臭氣止め法

本台 自動を記さんが、四五年前か ず、飼気が振くないので本宮に に大便式完でしたが、四五年前か ず、飼気が振くないので本宮に に大便式完でしたが、四五年前か ず、飼気が振くないので本宮に に大便式完でしたが、四五年前か ず、飼気が振くないので本宮に です は大手つで、お客が言さんへ行く 罪見い、早、飼気が振くないので本宮に た事間が 古典したが、元元を表したが、元元を表したが、元元を表したが、元元を表したが、元元を表したが、元元を表したが、元元を表したが、一年との不成も たいまがまさん。一年と、「東京が振くれて、一年の表したが、一年との不成の一年としたが、一年としたが、一年としたが、一年としたが、一年との不成ら 体に下ります。 一年に これを第・9年の大郎の明報を表した。 一年の東に変がした。 「大便の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、所述の中国も大郎に、「中の大郎」の「中の「中の大郎」の

中風の母を

快方させた体験 (大阪市) 笹

井 朥 子

共保式會社

SANKYC

中国公安部

(1) オリザニンは、脚類の原 国除去職で、其の治效並 に除防效力の顕著確立 ことは多数質強視文の立 ホナスト・スである。 でするところである。

でするところである。 イリサニンは、脚線の 理 症及中等症には 背極奏 用量の一倍半位の量を を 日間連用することが推奨 は、 内部本体サイルの され、内服不能又は阿心

学校の成績は強いない

等の危険期に際しては往 射潮が適用され、治效線 はる」に從ひ、普通薬用 型或はそれ以下に減量して全快まで連用するのを 常法とされる。 (8) 脚氣の擦防には、背洒薬 用量の半量を連用して目

的を達することが知られ

てゐる。

「部ピタミンBI 結晶製品」 野通品、二倍品、五倍品、十 信品、三十倍品及四十倍品各 種あり

オリザニン/は脚須以外種々の配合 設川を行す

(ビタミンB複合體)駐、末、 液、エキス各層

(詳細はオリザニン説明書 にあり御申越次第進量)

一、含有薬劑の配合は多年の經驗に依り最 一、主成分として高價なる無水グリセリン 使用法領便にして保温時間長き事の 戀透に優秀なる効力を發揮す◦ も純良なる薬剤を嚴撰使用せりの

一、薬効の完全を期する爲め特許嚴封包製 を使用すれば巴布剤こして吸濕、消炎

店商衛兵長田武 翻

店 商 義 野 塩 醫 直 食 名 合 巴 二 名合巴二 元實發

我がエキホスは鋭意葉効を主とし次の如き特

を吸收する作用を具有するを以て使命とする 神經系の機能を整調する作用と、腫脹滲出波 血管を擴張し、深部血管を收縮し、筋肉及び 痛性疾患に貼布し局處を適度に刺戟して表在 抑も巴布劑の目的は諸種の炎症性疾患並に疼 たる品質及藥効に留意せらる、事が肝要なり 観並に價格にのみとらわれず、巴布劑の生命 從てこれが選擇には相當の注意を要し單に外 撃に遑なき有様なり。 て市販に出づるもの時で共に増加し、 t

習出作實施

て全國醫家に推獎せらるゝも近時巴布翔とし エキホスの貼布は最も合理的なる新療法とし

低利貸出: 迅速有利 京城府南大門通一丁目十九番地 朝鮮信託株式會社 平群 壤山 大釜 。 環 環 成 木 地與浦

それ以上の消費は濫費です!

らなむの草煙 ^wentex

人一罐の使用量は約一ヶ月强 駄な散亂を防ぐためです 歯の黒いャニがおき取れます 暦です そして喫煙家ならずとも離る スモカは主として喫煙家の歯 を常に正しい狀態に置きます の不難! それを防いで口腔 口中の流れ! の歯を純な白さに輝かします スモカの粉末には適度の潤ひ が興へてあります それは無 モカは過度の喫煙から來る 故にスモカを使へば 臭ひ! 食慾

錠五十價定りあに店業品能化草屋



樷

資 笼

果京市日本極區本町大阪市東 遥 道 修町大阪市東 遥 道 修町

建生先輩崇谷西土博學團 **星進代無,本讀養藥新,**

疲勞過度 早老 神經性諸疾恩 惡拙食血說症 結核性諸疾恩 肺結核 肋膜炎 重病恢復期 ヴイタミン缺乏 腺病質 虛弱兒 養 疃 害

二五〇〇錠 五二 〇五 〇五 五 五 五 五 五 五 粉末 銓 = ↑ ↑ 000

所究研集工產水海北 創集 元造製

惯 低

廉

鲜鲜明發 合配汁胆牛·臟肝鱈

ンモルホ養榮力活

しよく局所的全身的に豫防と治療の實特に惡性貧血諸症 結核性諸疾患に對 合的藥理效果は縈養を充實し胃關を强衰弱者の服用にも適し、二大配劑の複障害等の難點を解消し塵弱兒實や胃腦 を擧ぐる新榮養劑をして最近益々旺ん **諸種の病原菌に對する発疫性を增强し** 化し食慾を增進し内分泌作用を促進し 故に本劑は肝油の如き服用困難 促進する特徴がある 有肝油 (脂肪) の消化吸收を良好なら 用こ膓内容の殺菌防腐作用により含治效あり。 なほ强力なる脂肪溶解作 配合劑たる牛膽汁もまた造血機能成長促進作用を備ふるに對し「特] しめ進んで積極的に胃膓機能を强化 結核菌に對する抵抗力强化劑さして 刺戟して赤血球を著しく増加し且 特 發 殊 育 つ ŧ

全身の榮養を正しく均等に充實する を網羅して豊富に含有し

旺盛なる造血作用

性貧血の イ肝臓療法 / こして賞用せ本劑の主成分鱈肝臓は - いはゆる惡 生活に必要な重要榮養素たる らるゝ治療劑であつて ヴィタミンABCDEを始め 人体の成長 肝臓ホルモン **隣化合物等**

治 灌防



NK (

なかかるたやすきことはり 西風を西か北かとまどふか

の音単弦の街はける風頭し

五十條甲の傳統を有してゐるので

この解棋名人の家定と云ふのは

寛水年間三代将軍徳川京光が、

|八代宗桂(初代印献)の三人だけ

占めたものは二代宗古、四代宗柱

野宗歩、まで十二代中、名人位を

であつた

に名人になっまでの配長時代には

立来が神宗の興隆部院は目覚ましば、家郷に推済させ、著五代月景田となったのは細山野中金が即名人に至らまで、三百 ・ 東京の田名人に至らまで、三百 ・ 東京の田名人に至らまで、三百

五)

おれ夜とならぬに月ある今

人は「も数、質力と整要な層に社」いてあるかを表示に「影性」として、歴史ある家派不位とする「名」の一学を難してある。

か、交往民家からの間である 一つてゐた、則もお贈替所で聞を記。ろから何れも念子に述べられたと「何に難くつてもよれないことにな

宗教、杜神、宗印、宗教、

一方、伊藤家では、二代ロ名八

こころよく深をなかす職も

の闘争総に、魔神征服のスコップ んであるのだ、大自然に揺む世紀 **を興ましく地場にスコップを打込**

土塊はロープで地上から吊下

してトンネルの職士に譲カプト姿

ラカンテラの光を唯一つの傾りと

この常園の川界に電灯

再出する湧水、何となく無 許りに疑いてゐる岩壁の

開く間に俄領によって運び去られ けられたパスケットに投げ込まれ

試

掘 竪

坑(門司 小森江) 000下屬墨語分影優別

近く影響せんとするロトンネ

では地下州四米速よりこの形状の

近詠五首

再びはかかる夕のあるまじ

柳原原 白蓮

昔は家系を尊んなが

今日では實力本位

脂みてぞきく消ゆる足音

んで下りて行つた、岩を彫くハッ

てメラ話れの自題を土塊を題び出

作民献祭内十分、かく か

ボンブ夫々 三発短を削 海峡に人工地域を起し朔州等する表別に切ますべく 込み間 海峡に人工地域を起し朔州等する大学(てみるとの という はない 海峡に人工地域を起し朔州等である

一頭に取付けた二干場光のサーチラ 科學の特別院は難の意制と知 條件を備へ てあらため

と同じく二百立方駅、名建武局技師護衛間主は昨秋十月 げる自居カボンフニールの修築航に過ぎないのだ、翻題

長十八米の西村式は磁水艇の出動なり、西村深瀬研究所に依頼し艇 なり、西村電和研究所に依頼 となり、春期にねるむ海底に

豆トンネル もホトンネ

海底の表面

三十四日石本東大增羅研究所長、

|| 方下陽原に同じ硬質なる異性に一様の複なくも扱いで行くのである。して

歴にして早くも四十七米を搬下け、「那意外に延歩し着」以来四ヶ月

闘門海底トンネル視察記

[下]

7自然に挑む闘爭

广部物博上紙-比類一起 第一 與品州海、海門仿河市 下岩塔內地湖流石岩畫 分五寸二流面泉港中

科學日本の頭腦傾け

▲孔子傳 (同科利平氏等) 本語(六月號)二十万長、菱山居地上の人間、関連なる常職人としての主子の皆行、思想を作代証拠 (本の記として平均に條明した本の | 接・返帰」ンナ・リオ「我、警の仲(二郎、東京市日本傳播班)ナ・リオ「我、警の仲(二郎、東京市日本傳播班)・「関・近年」、第一届「五十選」、東京市中街場上の版を開発書店。

ル制盤に登工する事となった。一部を押へて見せた。の完成を得つて深つに本トンネー部を押へて見せた。

間の原が覚見することとなるので、しばある。短いしていて、 質別し、東見、即見級関係監督として、そので、はなり作んであた私のが人が、こ 質別し、東見、即見級関係監督として、そ師の例を見たが、ふと、西 の観念に観響してしまって、人に 私も、慰めるともなく置を疑め

→ 本番女人男 (サトツハチロー氏 本番女人男 (サトツハチロー氏) 新作ユーモア全集第三回配本 (東南八十五鎮、東京市日本協區 と、囲かずにゐられなかつた。 どうかなさいましたから 中態時代に敬べを してあたのが、よく (明いて見) 勝 一 同かれる度に 冒護だよ」と疑り

んでね』 「一般を子クリノーと確む」 割したことはないと知つて、そのは を励は、さらいつて、右の下腹、ケロリとして私を調へた。 | 朝山の方に開居して ユレてるたのだと知れたこと 振りに訪わて行った。肺がば痛であるなどくは、ガーるのうと聞いて、火に、小出して、それにしても、この舌の舌と聞いて、火に、小出して、それにしても、この舌のはいの方に関連して、エしてゐたのだと知れたことを訳 こ、同、一刻も早く切別手術をするに 「どうです。先生」 私は、知り合ひの断者に並わた

があつたら、さつばりしたよう 「あれは便盛らしいな。ける通じ 「宣略でナよ」 ホッとしたが、がつかりした。

の画映新者撃目 RKO 最優を見る無法な の脈に間 はれて死

脱作は米著名の創作家マクスエ書の額々たる叫びを開かしてある た超短官、ギヤングの一味では似人であるギヤング、死刑を見出し と相似の場合を中心にこれに真独 の目階者である男と其妹なとをニ かしたサフコ・ヴァンゼッチ事情 かつて世界を沸

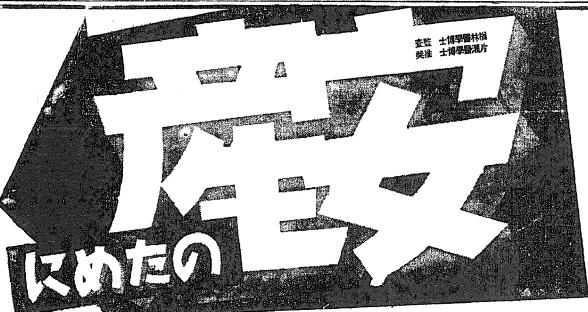
メーセット』これを「心の傷手」ル・アンダースンの脳詩コウイン

本紙を来訪した 「野梨、開鍵」での他 テルが試合した 「のアンソニー・ヴァイラーが関係に関すること」 「多くのピックフォード映画を発手的の医療につき、音優には、ものした名がデルフレッド・サン 旅業、落策・店舗、 一番に乗げられて原図 し、多くのピックフォード映画を発音を表現した。

胎兒の發育と 母体の健康にノ

骨核の構成要素にもカルシユーもが、其の中でも胎兒の歯牙、 的に擁護する事が絕對必要であ の成長に對し分娩までは毎週九 育に耐ふるには、母体を築養學 姙婦が此の素晴らしい胎兒の發 〇倍と云ふ顯著な坿育率を示す 最も旺盛な時期であつて、 胎兒の撥育力は人体の全發育中 ムの燐取を怠る事は出來ない。 より成熟までの毎週〇、〇二倍

店商助卵田和 町修道市阪大・ 上皇子册 にめたの産安 逃士博炎額片



剱但 **超四部 丹平** 閏

"这具

に化る强? と 髄*

シマす、痛まず、内攻せず

下郷や眠り楽に信用は常慣となり易く却つて面鰯樂=健門丸を用ふるのが安全有効です。

まり、便服を一掃して頭脳を明快にする総合 去り、便服を一掃して頭脳を明快にする総合 この場合、胴を休め、血行をよくし、疲労を ~する……

耳鳴、眩晕……イラノ 頭の心がガンく 眠られない 神經衰弱の手前 便秘する 痛む

選5ひい 白1くは 田*水分 ◇主 変変だぜたく た む 効 なんなもさけ 虫!し

知たもこめる紀候で励くトンネル

||一個 || を生命の網として軍事 ではめた指でしつかと鐵模子を描 は標な子は味な戦慄を覚えた 沙にんやりと見る、新

が落英の果で高気となり難様を振

●地に称えたが、第さとして水煮 年した原発性品を時代の風吹きを ・ 舞ら皇國の渡りにつく飛出の如き 長靴に武装したときは

た、域田技手の好意で鍛カプトに、
独死的関係を基本質地療器に赴い
観光は七日地下四十七米の堅実に

治びて今や科學日本の福圖を現出。更に敗良事務所ではトンネルの屋

本の七月下旬から向ふニケ月間 「異意研究館」とタイアップして 「異意研究館」とタイアップして 「異ない」とタイアップして 言式流法に依つて採ると共に、土の硬鉄、形式、湧水狀態)を沿に隅門兩地の地般の全錠(風化

素溪畵伯來城

近く個人展

入城、岸の泉に留在中であるか、の恵洋錦家は道華衣鵬伯に十七日 貴道書伯入城 嘉雅 光泉にも浴した人である 【宮護御、天井駿御墓の御下命拜受の

製色作品として封切以來好評を限

一丁目七七茂阿氏砥に福留中であって明正の金文十五日入城、吉野町

を加す筈であるが接郷の賃十八日 る。近く美術供業部で作品展覧館

| 班を迎い出【夏賀は草衣樋印】

ヶ月間京城を中心に各地に給

野五平氏が名人を襲ぐに及んでしため、であるの明治時代の棋響と綱はれた小である

ひなくなり、各々質名を名乗るひなくなり、各々質名を名乗る用い、日本語との子も用いて来た「宗」の字も用

保作が附せられてふたものだ | 松山、烈佐、利田田郡と云つた町には先づ家元と様原様なであり、この町にも野藤 | 鎌川へ元の下が明立の位に上さった代宗社、八代宗田の五人を用しこんな 埋田から買力が 秀でて | は初代宗社、二代宗田、川代宗社 の指を用しまた。学による最名人 は初代宗教、二代宗印、三代宗教宗印の八代中、名人位を占めたの

もある、尤も初代将国が顕水年代。宗性は命八十にして歿したが、こなとを宗襲としなくなつたからで。子に迎へたものである。初代名人 された職級上、自然家元とか門としずがないとなれば挑発の天才を終したは一面文象元年に將棋所が歴止しそれで家元三家では名人を遵ぐは一面文象元年に将棋所が歴止してれて家元三家では名人を遵ぐは一

五代月景印となつたのは郷田灯雕「『上手』の高號を挙げてゐたもの「桂、宗傳、宗桂、宗銀、宗稚、宗 の大橋主張の方で二代宗古以來宗宗推は陥入十にして優したが、こ つてむる 小竹郷之助氏に對し名撃名人を贈れても八殿で作祭を引退したが照られてきる

不足を補ひ、

び授乳期の甚だしき母体の楽養 ワダカルシユーム錠は姙娠中及

一一个時のラギオ

母体の美貌、毛髪、牙幽の惡化 を極めて容易に防止する事が出

見を得且つ愛兒の肥立ちを早め 競育良好なる健康

極めて好

性の皮膚病には水むし、田虫の

塗布せば 個人、幼児にも安全! ば早く良効を奏します好適で、入浴後様く

夏燚丹平商會

サユプス 笠七日 山田



お子さんに…… こんな症狀はありませんか

血色がすぐれず、非常に疲労しやすい

食慾がなくて肥らす、極端に偏食する!

午後になると元氣なく、頭痛を訴へる!

盗汗が出たり、 頸部に淋巴腺腫脹(ぐりく)が觸れる! 原因不明の熱がついく

ミノ酸の綜合劑ポリタミンを常用させるのが一番賢明であります。 ですが、一方何でも食べるやうに習慣づけ、强壯劑こしては、貴重榮養源ア が、結核にならぬやう家庭に於ける注意が肝要であります。 **し、こんな症狀があるからこて、必ずしも病兒扱ひにするここも要りません** かうした虚弱なお子さんを、一般に腺病質さか結核性体質ご言ひます。しか お子さんを健康に導くには、新鮮な大氣、日光、適當な運動、もこより必要

消化しつくし吸収されるへすればよいやうにしたもので、血液をつ ポリタミンは、牛乳蛋白を原料として、これを胃腸酵素で人工的に くる要素、發育を促したり体重を増す要素、食慾をするめる要素等

すべての大切なアミノ酸を豊富に含有した强壯潮であります。:

劑壯强 酸ノミア たし製らか 白蛋乳牛

の上アミノ酸は大腦や神經細胞をつくる上に大切な要素で、「腦神經の荣養をたかめ 兵株兵

關東代理店 東京市日本橋區本町

元 大阪市東淀川區堀上通元 大阪市東區道修町 大阪市東淀川區堀上通

虚弱な体質をつよくし、身体に潜勢力ともいふべき力つよい抵抗力を奥へます。 そ

ますから、お子さんの學習能率をも增進するわけです。

ポリタミンは、この作用によつて新陳代謝をさかんにし、そ**の**築養作用ご相俟つて

アミノ酸は、少量に於ても著しく全身細胞を賦活します

消化蛋白アミノ酸は、消化のわるい子にもよく吸收されて榮養を充實します。 ここに ポリタミンを常用しますこ、食慾がすゝみ、便通もよくなり、その上、主成分である

はポリタミン

な液劑です!

犬瓶 四圓五○鐵 中瓶 二圓五〇鐵

一個五五錢

全國の禁店にあり



資の融通を要請 公共産業貸付資金の硬塞で 一三千萬圓を受け入れ

野總監心臨席

併進に即す

windernessen anninandrange 本日園 著休載 Windernessen anninandrange Windernessen







金光型

が 「内容 コピート 176 「内容 コピート 176 「お枝二丸市 六三九市 「お枝二丸市 六三九市 「お枝二丸市 六三九市 「お枝二丸市 六三九市 Ĩ.

ン 多日 日日 一日

東道經珠其會東京日本梅、爱如銀行三階

用田男商店與際問題

現では中部以北地では中部以北地では中部以北地では中部以北地では一方田水を映了せる。 一と反射を映了せる。 一と反射を観入に 一と反射を組入に ができる。



本府並に各道に新設 朝鮮人の優秀なる技術勞働者を養成

明年度豫算の新規事業

等の 衛労働者として本府が折紙を附けて送り出し、大陸産業經濟發展の協力者とする方性の運動を作るとして本府が折紙を附けて送り出し、大陸産業経濟發展の協力者とする方と、近点であるで、相関的案であるだけ各方面に深い理解と取り、記されば、現別をであるだけ各方面に深い理解と取り、記されば、現別をであるだけ各方面に深い理解となり、独立義のと、対理を表になる。 「大野政務制度となる。在北京市事業施設方面に深い理解と取り、自己の政策が制度に対し、各方面の有論者、間域、政策すべき、対き、市場を制定として、上間期的案であるだけ各方面が、定に対し、過ぎ、市場を制定として、上間期的案であるだけ各方面が、に対し、対望と、市場を制定として、上間期的案であるだけ各方面が、に対し、で新聞を実になる。 「大野政務制度」と、「大野政務制度」と、「大野政務制度」と、「大野政務制度」と、「大野政務制度」を制定として、大陸産業のと、「大野政務制度」と、「大野政務制度」を制定して、「大野政務制度」を制定して、大陸、大野政務制度」を制定して、大陸、大野政務制度、「大野政務制度」を制定して、大陸、大野政務制度、「大野政務制度」を制定して、「大野政務制度」を制定して、「大陸産業経済、「大野政務制度」を制定して、「大陸産業経済、「大陸産業経済、「大野政務、「大野政務、「大野政務、「大野政務、「大野政務、「大野政務」と、「大野政務 ため半部各種はり強い関連のペーンマーが場動してある。しかるに勘測頻繁の第二線にある土態が働者例入薬の人々は確実機関大る推場性の程度能認行ば返は過ゆっ方面に反感し、薬に今年度の土木建築量は情報は来のレコードで、總額は二戦入手査団に接し、これ

漸進的に實現

部国航を配正し、思議内相を測空、自然の作成になっては肥安が批試日の開館において北原院部度制立、問題の開始を述めて来たが今後共日の開館とはいて北京の日本になり、一般に記録を中心に北原院部度の五が共働化に 近欧治的に取扱い急進過程に走ら を闘つて漸進的に時代に適合した にその飛腕を委ねるとなく、あく す政族院各派とも十分意思の球通 備砲口徑の制限には

愈よ具體化に乗出す

貴族院改革は 現内閣の使命 世院方面の観測

【東京電話】既前はいよく、貴族一相はビルバオ市が原よ革命地の手」

同調で物の機構中一部を取め群な同間で物の機構中一部を取め群な 面では次の如き観測を下してゐる 是だけは是非常更すべきもので 一、外地質源の絵画連用計畫部であり他の政策問題は別として 一、顕微的民事務の別定部せられた重要なる使命の一つ 定したが、右は一段疾院改善 流に近衛内側に おいて拓発省制即中電1の引き出た。 **父戦團體として**

おいて振竹名は鯱中吹正の附が決「東京出西」十八日の定例隔離に

を期待することは困難である。 者の抱懐する根本的収革の貿現がくては到底近隣公初め革新論 現態度をとることは明瞭であり、 は、特別の安勝性を現はし消極。 関資技として表面に立つ場合に、 関質技として表面に立つ場合に、 関係に通明してある馬切内相が

大概院が実施のでは、二、川南合したいと は食までに一、二川南合したいと は食までに一、二川南合したいと は食までに一、二川南合したいと は食までに一、二川南合したいと は食までに一、二川南合したいと

改正內容

一、財政院政革問題・大型左の如き指員を設置した

欧然協力を借まねびであらう

「大物技を掲げた隠には余も

朝鮮にも隣す

同業組合を組織

内地同格の統制實施

| 堪が自四名、川水田一名、曜十名 | 郷に分れ大町東田瓢及は第二瓢長 の票務を撤退するため出記は一名 一、内外地の旋梁の調整 「東京電話」馬場内相は十八日の 内政改革を中心 内相が抱負を披瀝

一、南洋方面の折領事業の副立

獲労職費には提案したいと思ふ案の其権化をはかり、是非とも協力時局に即應せる選集法政正

を外にメキシコシチーに覚々亡命

みつちり勉強したいと思ふ | 後蘇駿中央執行を減煙に強て左のであり、離問題であるので今後 | 安蘇駿中央執行を減煙に強て左の地方制度敗革は非常に重大問題 の生活を減つてゐるが、十七日午

兩政權を承認

スペイン内観の慢性化に鑑み

如くスターリン獨政論能の電報を

あつた方がよいと思う。その運用にあるのであつ

ものである。母歯桃紗以中搾物花「標準制技から選信することとなっ妙里四名、蓮像生一名を掲載する」となり、第一脳社には東北地方の のため東亜戦は近く第一戦、第三一てゐる 止を撤退するに決定、十七日オノ 撤出禁止 田韓田を悪北してあたか今回行標 六月以来ギルダ代明では、金の アンダ政府は一九三六年九月二十【アムステルダム十七月同盟] オ

和闡銀行が發表

1、1、1の財分保限与は収る時期 | 似に金を外向に競却する批的を現てその敗正復而に連算なきを期 | 名唐春寺天和がに関小権庁・著てその敗正復而に連算な 銀には前接何ら悲野なく、前に を所有する私人に國内で発より 一般民権のはオランを政府の通貨の企業を受けまりその問題支した。 は

獨裁を論難

能域器トロウキー氏は前回の動品 トロッキー氏が發電 それにソヴェート帰邦のである自然りに上げたものであ

を表しています。 古いものを単位して名へる必要があり、 国間トロッキー 原法 に不利 これでのであって下組上が勝利がこめである。 今回のことも それに開始 ので、今回のことも マルージー マージー ないました かりのこと かっぱい かりのこと かっぱい かりのこと かっぱい かりのこと かっぱい かりのこと かりがいる ログルール アー・ファイン アー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ

物價對策協議吉野有馬兩相

短り動物對東委員の取扱に励し協し十人目的確似的後首相は認に掛け、人工的確似的後首相は認に掛け、といい、「東京は話」首野商利と有馬の利 後取めて近衛、関風、有勝、吉野を見ず来る二十二日定別部副牧館 の關係四相関脳を開き域所の思 確を強けたが、同日は門加越相か 別用あつて膨躍したので何要結

を狭定することになつた

◆植木錦天大佐(安原省經遊廳長 ◆朴雅等氏 換握のため十八日第

半島資源調食

第二年 次付氏を迎へたので 次付氏を迎へたので 縮もてゐるが、林さんはゴルフ ほしこの大物を埋えた▲そのほ をやめて前の大物的自に傾向し されて行内は消折指側の部分に めか往時の砂に磨い部分は一 た▲『私は釣れても釣れなくで P新を一心に見詰めてある側の は政治を加収部に



すか』と順けば▲「岩」冗様もなかつたので「もうば分やめで 實主義を吐蕃▲虚が抜さんは先 到底的まらんよ』と大気版(MAA)と大気版(MAA)と大気版(MAA)と大気版(MAA)になくちゅ はいくが、大側といる品に行か 構水配在の素機に長層に加した れないと面白くないぞー」と規

信 A 12 大

合理的經營

低壓保險料

Æ







本世界是保險株式會社三井生命保險株式會社

其他全國主要池ニ 出張所代理店アリ



|新聞した自動質は各種類に難及||るのもニュート販路を観で午後||つた(宮廷は復版者)| つた(宮廷は復版者)| のは、東京支柱神者 | つた(宮廷は復版者)| で、宮廷後左の如く麒・東京・宮廷後左の如く麒・東京・宮廷後左の如く麒・東京・宮廷後左の如く麒・東京・東京・宮廷を共にした。

衛権日極間辺に関するで国政所 これを十四吋に遺滅することに同 ▲ の鷹ほは依然不続であつて、こ 出の鷹はは依然不続であって、こ 出

閻錫山氏

又近く會つてお話をする考へ を訪問後南總督は語る近隔首相南總督は語る

授を設けたことは進法制局長 観点によるもので、副音長は 御挨拶を述べた

指導に盗った原料内相を調査的 るること等の膨より見て現け一立も左の如く眺つた

副教長に起用之か改革を置らんと

【軽井澤正記】現族院職長を引擎 松平伯は語る

壁の松平伯を昇格せしめた外、能 たと、及び

医田内閣が

時内閣側 K圏が記述にあるかは 脚長に研究 た佐々木行忠侠を副韻長に据る 於改革問題に最も別心であ

は用することに決定した、政

議長を承諾した

敗革を質別せんとする方針である

應ずる事は不可能

しての傳統するり「圏お斬り」「を応調とする主力域の匍匐月佳献」の思訪がありました。内職院と、「東京完善」新ロンド・海道体験「あましたが年度型記録のよう」というという。 深るまでは相川 こちらん 深るまでは相川

外務、海軍兩當局の意見一致

兩日中に米へ

民政黨の政務調査

一つた(程度は複複質)つった(程度は複複質)のかたかつたから、今日はほんのかたから、今日はほんのかたがつたから、今日はほんの さらに右方針を上開に選し事務手一移腰方を要請した は十八日の開韻に報告承認を求め一を題に闡明し、これを本園政府に **運ぎことに一致したので置出外租 | 選正式に回答し、帝國政府の方趾、** るとの結職に到達、既定方針通り 題のみに聴することは不可能であ

政民聯携の常盤會

廿五日に會合

の一般の常報動は、時間に一レニ十五日午後大時より常館においた。 ◇…出席者の顔觸れ

就がガストン・グ・メルグ歌は、ガラ九佛大統領逝去

20 位正を加へて消却一坂左の和く可決との時 氏を小るトーニー した、よつて十九日午は、時より | 原来にあるが、自社署しく設制と 東の関立のため活動を開始することでは、対けの観立のため活動を開始する。 原文形 東の関立のため活動を開始するとでは、一つが開密との朝起を那 東の関立のため活動を開始するとでは、 東の関立のため活動を開始するとでは、 東の関立のため活動を開始するとでは、 東の関立のため活動を開始するとでは、 東であるが、自社署しく設制数

顔の殿石橋叫殿しこと十数日以来

(東京住宅) 既日外相は十八日間 てをるが、外層に長くをつた向って伸びることに半力を超 見る所では今まで蘇聯邦は外にては異相不明であるが、自分の底職邦名今 回の事件につい 廣田外相說明

【北平十八月同盟 開邊山氏は持

脳石病が再發

京大東 不不高 松、熊 一、原、小 樟、仙 下京、小 樟、仙 本島臺 京福金 城、臺 北 湖、新 潟

担西した事質があり、イーテン外、炭質別由として敷へられる所左の難部の紛縄を整然変成的の損殺を一観を書法し観色を混してあるが、戦闘の紛縄を整然変成的の損殺を一観を書法し観色を混してあるが、対している。 但し他既解の一部には突縄が出ている。 但し他既解の一部には突縄が出ている。

で承認される時代。 四年配に 財し公庫に於いて計算で減行する 施利を消異されき事となるが ヴァレンア政節もまた自動的 に突視問題の申はを選択。同環 四ヶ河の海上監視に等しく困難 を加奥しない事合となるが、 少リンア政節に自済セチッテ ルンア政節に自済セチッテ レンア政節に自済セチッテ ルの機力を持たに、現伊南 図の権力を発行は、現伊南 図の相似しない事合には、現伊南 図の相似しない事合には、現伊南 図の相似となが対象しない事合には、現伊南 図の相似となが対象しない事合には、現伊南 図の相似とない事合には、現伊南 図の相似となが対象の地は をが入れ自由に、東伊本 のがれ自由に、東伊本

受所も行動解を受許でするとは、 関連政府前に納解が成立すれば他 では内証一貫し勤英権出電職数量 の決定をみたが今回退にマッ スペイン問題の金版作息用級に「南非物質を腹離せしめ部質局及び ンドンを訪問チェンバレン首相 ーデン氏等英政府自動と問題し 相ノイラート氏は灰っ世二百 電か、図上省では先転圧階、小笠、質分解決は麻蛇のやちである 関がを生ずる供れが多くなったに、早なりと主観して纏いんのでこと 関いを生ずる供れが多くなったに、早なりと主観して纏いんのでこと ですりた、葉色、珠那ぱ寄食工芸館、た葉色速期級歌音楽については朝 りの結果内地の既伝達者との間に、鮮の楽者が内鮮一貫統制と時機は 単の結果内地の既伝達者との間に、鮮の楽者が内鮮一貫統制と時機は

てみる 一郎以その他内地国権の統領を實施決定を見ること、ないうと見られ のマクチ丁素組合と連絡して生産 英語館談の結果を吹つて記念館、第の周楽組合を組織せしめ、内地英語館談の結果を吹つて記念館、第の周楽組合を組織せしめ、内地

を 計論計論人、 防軍投術本部工兵大 財情計論人、 防軍投術本部工兵大 関大順を 15大氏の入城を機能に 本所文件 1875年 17月午前 同步兵少佐中山軍人、同質厭臭品 同技師金潔賞一、參潔本部聞兵大 音源局事務官剛長少佐三品美貞氏 を開き半島養浦船像による風景器ル時から本府第三郎海池で打台館 打合會を開催

打合せを行つた、なは大野政権総動員能費中の禁備、在編に成いて 一覧は十八日正午大利町日間に一行 を招待して午餐館を雇した

蘇の内訌に付 はまだ強してゐないか、とにか 心境を樂しむといる語りの境に

方常局の補資料を貸付額の一 | 二分として可及酸に顕真な賃付をとするか、二分とするわけ | 行ふ方が資本金運用の登言に添ふとするか、二分とすると関し、原子を

大藏省の二分説に落着か

|昨年の都市對抗の卵番門可能消局 | 戦することになった、一行に

全京城と闘ふ

内務省 鬼玉神戯局長は、周日 直 | て神祇局と都市武磯祇で売分打合|探算市勘役より提えさまナナ | ・『シー

は、組織委員館の歴後案たる外 | のないことが判明したので、、

内務省案と略一致

七月頃行はれる

局は一金送も其頃決行

海銀行の増資

歌題朝鮮を宣揚する大麓哲島成の と云はねばなるまい。そして、 **どう表現する**

全朝鮮富兵聯盟理事 山澤三造

迫つて来た。今回はカメラに親も前のみに限し

改造案の大綱

從つて今回温度を通じて紹進的

| 投表、群間には臨日を持数を添す | とする原境中等現役業が職別か今 | 仕事でなく諸でのカメラマン悲劇をする原境中等現役業が職別か今 | 仕事でなく諸でのカメラマン悲劇に中等現役業が都を打つて一起 | 只に一部裏内閣域に携らลのみの

|推における内地人と例解 総督の明朗なる統治のもとに「説 | 努力してゐるのに反し、天津では

◎東西兩都大家最新々作畫展

国ヲ生キノカサヌ

細

殺療法

らこの顕微に成心すべきである

蘇聯の動搖

說

(國防

Ø

を聞き、國際都市に生活する (他の朝鮮人婦人の生活歴度が

る記載と聞いてもるが今からで

し、實験数年途に完全無缺の治淋漓點を捉へ獨特の殺菌法を興ふれば愛いない。 是等方法で根超出したものである。是等方法で根超出

意外に早く根絶出來る事實を發見出來ない强猛淋菌も、一度その弱地力を烏爾羅の無能を遊憾なく暴露

法として發表されたものである。

内服薬では再發する

のは常然で内服薬には親國力がな

再に慢性の病苦は従来の治療法と

く新発見

専門的殺菌法の

(偉) (権)

素人にても出來る

書品の都京都の佐藤懶併氏が保意の東西南都大家の最新

州縣補償料率 を続り

人藏、商工兩省對了

北鮮から間島に旅して

期の大御所で然も悪償の安い監督者は助かる。

川工場を建設

日産ビル建設

要強く戦かす、戦争く脱く器は観醒力が発展脱酸部が一般よいと云ふが、 穏酸力の弱

質収しない

深部の淋菌が曲者

(ジュ) 不信悪な観然なら内脏症の如く一向治院が一会ふ治地に収だな共和の認識のこに、骨師も開議。 深い異に届けば後週力が再調 深い異に届けば後週力が再調

段節力强ければ深い奥に届かず

巡尿科 野母博士 保

見ると難つて厭恨に懸き、大七年になるの 細を聞がないので仕方なく、要店で賃貸 略)局所導に酸明なので内服薬をその

贞

宣揚 冩

擬な場所分も不供な安徽を醍醐しなくてはなくも効果ある治院が出来るのは脂焼です。

、寒暖されたのが二度供流で散感の開覧に楽して伝い、の様子もと夢かない。之れに楽嘘された始度気は、内臓は視瞼が出い。之れに楽嘘された始度気は、収蔵は視瞼がある。彼め夢いた動い、

製に遊がない。世界嫉姻那と順せられる所以だ 観戦の振陽が三と助で観響が十円で溜つた動像は傑 関戦の振陽が三と助で観響が上門で溜つた動像は傑 に状態がは強い。 非の暗郷三級関連を乗くるとさるも に状態がは強い。 非の暗郷三級関連を乗くるとさるも に状態を動かれば必ず無弱をする地的はない。 十 に対態で治像すれば必ず無弱をする地的はない。 十 に対態を解析を関すな一段関連を が立った動きになった。 大阪間と深底の 散 治療は二分 併整定を強防する

股让人類は伊袋症を起すが本剤は絶對致防す 様狀挿入獺の不快なし

・ 出奏や権杖の挿入郷は保道に入れて安静を築して、 はない。 見ゆる治療に実現し述為にある患者は直ち にない。 見ゆる治療があるが、本郷は治療が優して赤砂の必要 と本語で治療を集める。 三丘氏(約十七日雄) 十五〇氏(約十七日雄) 十七日雄) 十二四氏(約十七日雄) 三部八十超 四日 組代別なし 性、神經衰弱、 眠症等に叉弱精、



には時期使つてゐる。

たは時期で治療する緊害は

ないが只類種間筋の補助位

ないが只類種間筋の補助位

を対してゐる。

総合場である影響の質覷から響師は「恋」くが形態部、直形展題を治験する局路薬が行動で中でも振舞が 器師は必ず局所銀剛を使ふ

関係であるから機能を完 る研究であるから機能を完 をに関係しなければ数十四

長院元院病原吉

生先榮廢佐

ボルギン

再生の 全治して第二の結婚

全年年春み間紙になった場句紹婚後再覧 と記される。

野の騒動なりと
駅間線が推貫して
ある。

二段殺菌法の驚異(第一殺菌法)

夕刊後の市况

まったもか部膜の根型であるが異常等も現在此の財子を事手配したり、単列は職が製作事事限の関すと語り、上次の、現在を観点を動きが大阪の場けと語いましたり、単列は職が製作機が平等限の場けと活動したものを観光が開発が平等限の場けと活動したもの。現代を観光が開発が平等限の場けと活動したもの。 研究多年、深庭设施力の最明に中よ期はない。

東京古原遊館吉原湖院長佐藤東先生が在行中で政 思考からほられた質量を基礎にして開発放力をそ

精力增進

業各 店 有名

今評判ノ 蘚命酒

旺ならしめ は完全にホルモン 老衰、疲勞、冷へ を補給し、血行を 朝夕一杯の御常用

强壯に缺かせぬ好 飲料であります。 木 村 齊 店

日東劉宗 (1985年) 文献、 2018年 (1985年)

樂房

店理代籍

日 電話三田(一六八五年) 東京市芝英河新町十三 一大八五年 東京市芝英河新町十三 一大八五年

限が光り、歪んで見えるほど解 を聞く喰い縛つし、その彼の側

> に、ほかとある記憶に聞き図った、彼は世間 の概だ男が誰だつたか思い組らしてゐるうち

何處か見憶えのあるあ

で空の一點を凝視めなから、

女はもう泣き出しさうに配へた、みると家

間の残りの灯が脱い炎の話でも

たら、妾道一家はもう側死を待つ酢」向によくなりません。ことでし

む季節が來た、金裕悦の財産も戦を得らいで

式かすつと流れて水の迅

く落ちこんた眠い眼器の底から、不常味な物を見てるた、背の高い観た男、斉白い鵬、深めの手が値き鳴らす花瓣の伊髪で……私は跨るの味ってある此で、老が歌つてゐた、奇いなの味つてゐる此で、老が歌つてゐた、奇い

岡賣道具は懐ろ

夢は正夢、巫女は退散

方而委員の温かい手に抱かれた話 ③

夏の夜を象徴

ペマートな姿は一層あなたの後刺

表の上にこのチョッキをつけた

るのであることはいいまでもあ

れは男住立の遺行が政化してあ

▲これからの時景にかけて特に

(EEE 2)

彐 ッ

キ はやります

しやらない方でも、ももろんアイトしたものですが、かけていらつ トをかけていらつしやる方がセク マーこれ…ム はパーマネン

はつらつと若さを見せて

((((み極の粹不はれこ))))

方分見の駄下桐

17/7 上りの快い肌に浴衣が「衣そのものが既に凝もくだけた眼 第二局

になる方がございますないは、そっさすとも、

といふいでたもに、足炎をお渡さ、凋和させて、薬品に爪紅まではさ

4	_		会	王	金		林	查
· 平	Æ		<u>金</u>	王	♣		#	卆
4	Æ		•	_				
44	世 红之	_1				YIT	_	_
4	42.					蹆		
		12	4			禹	4	1
		-		-		=	-11	-11
	- 1			47	47	44		
							步	
		_					1	
	7	F		步				
<u>ا</u> رازا	15		步	-	11-	<i>1</i> 1-		ı,
2	7		77		7	步		步
1 1	角	- {		全	銀		7	
ز عدا		(a)	$\overline{\lambda}$				15	
省	掛	尺	金	ニ			柾	杳
				九九	្ន	1.6	Ήř.	

先 魯門段 鈴志

六に触地以及りを合せて二萬二 京城美容學校移轉

下駅や、木のよく枯れてゐないも

次には下版をこったせて

比較して脂で

とを含んじた の治療を受けるこ を行んじた

有志の同情を収め

カカミッが一帯 披毛止めに

一番水が山く……一番よく冷える

どうも重たい感じでび、革意風、戦は歴女の下

後手の

記

飯

塚勘

Ēß





理 砰织 清

高野發肢製作所 東ロ 整新機器中国号 北海道机構設平町大学平原村学園の報

8

應特別型製作



設計製作の御用承ります 電氣冷凍機

の嵌さまに開けた組合せ発質は問題がかなり複雑だったに も拘らず質に熱烈な御支持を得ました。さて締即後傾重に 正解を選び最正抽籤の結果、次のやりにA質の方10名が決 定いたしました。(H質 3000 名の方はお手許へ質品を御込 附して入賞御通知に代へます) 取取えず、ここに営選録表

店

河村貞枝様 川村**设**吉様 知中正男様 賞 十 名

大理事情で降低者の一二七七 社局助教的 報刊申請工程等 1 軽 一切出場股 女優の下女声は小野の北町七四 臺灣事情が起路可エノー三 南京市静田區五朝町四二 布古山市中區大東門南

冷藏技術の最高峰過去九年內地各一流百貨店にて絕大なる好評を博す

%

纂代理店

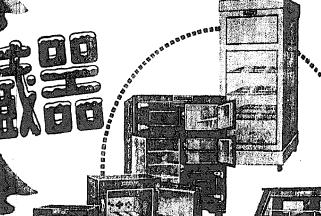
SNOWLAND ICE CHEST

使つて初めて効果燦然

京城府南大門通二丁目 概似 田 清 商

電話2410番 2928番

總代理店



★ 大東株式會社 大阪

他の半数は前小作人を擁護して職一もが出来たが同事調事件の解所要

出席を布置してゐる

赤の一味か

場からの思胞類を及じし、小砂模品館の動脈視聴か会低下する等の由々しい現象から今や住民は脅威の中にとなる資金、関類作から思る夢しい題の間の耐威を関作物は歌か、大声に含まれた。自動々は戦内の最高の中にまで使人し動脈動による生産疾動も物かは、年産土富物を目標に選び変乳行の強寒を低けてゐるが回艦の能感を傾所にこゝに厄死なのはでによる生産疾動も物かは、年産土富物を目標に選び変乳行の強寒を低けてゐるが回艦の能感を傾所にこゝに厄死なのはでによる生産疾動も物かは、年産土富物を目標に選び変乳行の強寒を低けてゐるが回艦の能感を傾所にこゝに厄死なのはでによる生産疾動も動から思うを関する。これでは、東京に関係して、一つの歌歌を提供して、一つの歌歌を提供して、一つの歌歌を提供して、一つの歌歌を提供して、「衛宙」各地に於ける宇宙標度、突は機敢和常見新、近くは水安、吉州宗主義の水の皮密対策が鳴ばれてゐる指備と、に「韓国」各地に於ける宇宙標度、突は機敢和常見新、近くは水安、吉州宗主義の水の皮密対策が鳴ばれてゐる指備と、に「韓国」各地に於ける宇宙標度、突は極致和自然の神のない。

を鳴び、或は近く市民大管を明す館社側に對し適常な時限施設を要求すると共に取締治局に對し時間に及る模様である

要は被害の程度

まい、併したがら班梁の特徴上或指度の階級は常然現れないが問題はどの程度に人番乃至は監作物傳(られるやうな夥しい被害があるとすれば道としても充分調査の上なんとか財策を終せればたる

道産業課の意見

| 「城州 」小野田セメント古宮山三里の中うなが22を持してみる
の中うなが22を持してみる
の中うなが22を持してみる

我等の海水浴場。に

一場地帶を設直

四湖津面の財源増収の案に

兩地の住民ら驚く

第二派に分れて相談事し

時間に思北の新レコードである。

繁一化し所峰 清州和小作奏战部

に捧ち込んにので去る十日の同小

原郷に腕原系工三名を召喚して動 【浦州】朝が檀草耕作組合傾仰で | 正ごごを引致し機動戦に取得べて作奏政勲で仲下臣拝、窄坂が彫刻 | 「「北方」でも 日午後柳町三三拳銭乗方女中金程

に救濟金

【三川】 警察 署高原 係では十六

|満州|| 郡内県省面鉄地里郷毎三 | 解に努めたが双方観りず原仮った

李清州郡守の記録

小作争議の勘解に

チト草疲れましたワイ

咸興から東京まで徒歩旅行の西山老

思慮峰の嶮を下駄履きで

體育でも試験勉强も 田舍の兒童には劣る

さてこの跛行をどうして緩和する!

都會の父兄が大變心配

傾向したが、慰問追内を通じての現象は後山府向上に留急し恐慌な登録指派を細和する方針には規定の教訓鑑の軽極に弱める一方別間の監査 をさけ見ての受験機関は各家庭でなし各島校で校の試験期間教育を一切散競して過度にわたる から本府省局の防止方式に配鎌して道内初等學 は島昭備の整治な一様するため度剤では昨年末

機能が多いだけ良好であるといる好様性を共踊 し一方が高の難飲る都像に助して自然に觸れるへて早くも必死の難餓機働いたるところに展開 に後級する事質が調摩で明春の人學達成をひかが強威なく自由に行はれ、父兄もまた婚が敬師 子」ので常に酸重な監視のもとにある所内初等

内の初等が視を除く他の地力が過では動脈教育

の反省を促す必要ありとの船間な機関が機関し 見物側ではこの法行艦の事實に對し遺糧務計局されるに至った、これがために所内各種校と父 り明礬の受験反路は肌る基心すべき結果を推想 て來た、耐してこれは現在の視覺關度の終陷を 製造すると共に人型能級和策の一大支師として

學校に非常に不利な立場に置かれる矛盾に陷入 各方面から成行さを注目されてゐる

機能は日取り決定分は左の如り の在地には同支部を設置すること 別州に司法保護資本部を置き各部 なったが性間、堀川南支部は低 脱惰式を駆行、目下のところ同一

金樂濟海州へ押送

愛館は八月二十日総勝行と内定 一蹴の片側れ黄巣道部州生れ会業所 「完順 ── 夏の馬山の面目を一新し「河州」 | 日郷藤城峡蔵四名の神峡 | 霧を首はとする有害公使郷没蔵(河) | 門舎原(知者の 世あらゆ 気施) | から ので 関加後は大いに眠ふであらる | 「河州」 | 日本原 | 「一日」 | 甲年上華で | 『北上本で | 「一日」 | 日本原 | 「一日」 | 日本原 | 「一日、 | 日本 | 「一日 | 日本 | 「一日、 | 日本 | 「一日 | 日本 | 「一日、 | 日本 | 「日本 | 「

料作者遺は早実に勝雨の大器びで

防空演習協議

簞笥の中にまで侵入し

殊威を揮ふ

今秋九月中旬中鮮の空を

の保護事業の擴大後属を目指し

馬山の海水浴場 海底の岩石除去も近く終了

く計量中で七月一日に創刊號を 単版を殴目として 欧国 単校出身 初州」 忠北道殿館では近り東 則七時半人間の平安先で行行上 以は百産財保職は等同志の投稿 忠北畜産彙報 忠北の小作争議 一思北西原安報」 全刊行十 七月から發刊

はたつた一般である は大十個はかり減少、その内制定 三百三十代を昇し昨年同期より 召以來去る十六日までの小作事級 清州] 思北遠内における本年 川の火事

原地で鐵道局主催の局員家族原安」ることになり延吉林が発売不久難去る十七日年後入時から汶山帰町 | 名案だと意思に割行所伐と質施す一次(山の)映画(曾一「汶山」 | ※者の利益と瞬間防止の一名| 最 五十分暗劇火した、原体は失火。れてあるがこの総林開鍵は林柳碧の一部の方から観火一種八世帯を生焼。で耶観の観察に妊瘡合た地域とさ 町二二一軒英市場町被受屈隊地震【二川】十八日午町五時半城四京 名案だと急盟に官行所代を實施す業者の利益と開放防止の一石二島 に直る結林地位は陸地湖京都地「一人夫三十名、聚蘭歌三十名の至す。 発はフトラン・ニューナンない着で『原、和祖縣、権何縣方面』以下海域九名と集書十六名、森林『組、訓成石麟治書、建造鉄利木标』で有で『原 古 自頭山本殿、茂山南原門』 取を理従者に全張一氏を周在鉄長。その下嗣を清珠変良長、僧原将行[茂山]白頭山本殿、茂山南原門」 取を理従者に全張一氏を周在鉄長。その下嗣を清珠変良長、僧原将行 れてゐるがこの密林明殿は林桥紫 には自色地帯と稀し米湖域の地域

の除去作業を行つてゐたが、來る 出は能來の月ケ流海水浴場上り造 場で言宅組の事で過酸水母底岩石 を行ふ像定で自め番松の同様水浴 【馬山】府内翻町五帆ケ融池水浴た上七月十一日には深大な作用き 來月十一日海開き

)は去月上海で連捕され十七日 無料公開した 清州支廳 昇格移轉

という。 では、「日本のでは、大日子後、清州文献所登中が忠宗。」に、このお歌新後の必要ある門では、大日子後、清州文献所登中が忠宗。 医がを手乗中であることを恋よ切覧のため、清州文献所登中が忠宗。 医がを手乗中であるので城支齢に 紫紫龍女、雅勝前切組頭、高に呼一のめかしまた法院が格は那として

で発置上にしたり一种後の適別の四日から仮場所長以下原は高動い 【油州】野政局川殿町では五令 煙草の早植将脳

STATE OF THE PARTY OF THE PARTY

で呼ばしめればなられる

難に肺精錬薬房に刷するパンス ット二子朋を刊行し近内な 概算期の服師を假つてゐるが今でに進四陸就機關を翻削以し膝 小册子刊行一兆音型

元南金組加人式

加尚を中心に伐続することとなり。像定で月下間省に寄つてある

【清清】 歴世公州地方法院支は丁一財上版世院支は支援的に如業事。

原田院長に

有志が陳情

共匪躍る。白色地帶

大密林斧入

匪襲防止と林業開發の二鳥案

延吉に官行斫伐隊

で二十日頃には大闘移航空」のは

耶に開業局に配付し外來出者に頒 作することしなった

魚設電話開通 (水)

成中鐵道前奏曲

最難關の黄草嶺の調査も終り

【成戦の通り経験し質細胞の測量(られた小野雄氏は十六日、家族同一階度してボロ輸けしスリチビで樹に成果) 登場の戯中郷世帯経歴に経歴 |も豫定通り進歩、工事上離胎標さ | 住着位したが同民は昭和五年の北 | 酢してゐたところを十六日夜出 質測班は勇躍前進

以つて終り測量控は即に古木水、「一般の新進技術館で明別焼酒な生れてゐる黄薫館の調査も十六日を「海遊童大手科田、本年取つて三十 ※でられてあるが林殿興霞神傳頭 | 行跡に現より今日に至つたもので | 貸四名の確認選集を公部堂で執行中機道の削奪曲はかくて高らかに | 海道圏に入り留米、丸七年間土木 | 廿日午間九時カら午後四時まで間 心芸的を認めし同識が圧血の挫折 語、改出方面の質測にかくり歳 | 棺の様主、慰婆を出ると直らに北 | 【七月】 商工資源街では来る七月 谷惟一の朝氏は全難爾王南藤所 | 青年技術官だけに大いに助途を襲 | することに決定した |煎出艦のため出城の機能に本||宝されを事を帰な忠北土木行政上

小野忠北技

セメント工塲からの塵埃に

怯えて住民ら對策

ない。以下間接師の発信版 部がはなくれたす。これから大いに勉強 がはなくないがしませんれば、別様になくない地にあるではあるとは、は消別は任みよい地にあるできない。

忠北の春繭

出廻り豫想數量を 二萬貫突破の見込み

以上の貿占め先、郡是以糸宮代側 、 1997年とは、『小皇皇』「『皇皇』 『皇皇』 大日には三十六僧に下落して一強(科学犯で能罪ある見込み路は四萬五十世に殺した、『霊蔵) 大日には三十六僧に下落して一強(科学犯で能罪ある見込み) はたりてすらは、『『皇皇』にできずし 在い財務様りを売し、この剥土。」民にはい旅かれたが相遇は十日、高の一地子譲りで再贈りが例単に「高五王國、これが釈一干人の路(高州)忠北の春峰は曹隼と憲牒」である、十五日までの戊穀金剛は に二国質は大丈夫突破する見込み では十五日までに六十五萬國の買 掛も帰属してゐるので遊園家遠は 一退、しかし去年に比して六、七

行する

漣川の共販 廿日から開始

以糸宗者も我が世の春を翻歌して

け政金を各都へ配付、務取家も

の服の旺盛で微來月承出に供した。 によく心同院対象に認取性は一高の財政的には十日地院開始以來、出題、限調であつたので個の出來が非常問題となったが、清州都國內共同院 することになつたが本年は天候が個異なが概念、清州都國內共同院 することになつたが本年は天候が る二十日から各規殿町一齊に明始【離川】郡内の春鶴共同版質は来 飘削 金帽田官房主事 同上

世長河が統定・浦州郡野内共同政

清州の共販

面(二十日-排日)皆月面(二」品質體劃型ラルフ・マーフィアの(二十日-排日)皆月面(二 本ユニヴァーサル観智性近代制即面(二十日-七月一日)明 光川夏子・歩井町・山路波入共邦内面(二十日-七月三日)明 エ よんぎょう エリー 十月一二十九日) 百篇版 (二十

のによりの出題り後継載量は五千貨であるく安全 台一が十五月までに既に四千五百貫に の出離りも線を越した、同判版所 が十四、五番日間を混ぶ所とし十四。日間の持ち込んで来る有様である

ため部の国産体が活動が立つ四点が、は成果、異菌関節十二萬人の保健となる説をは異れば財産が入る闘る・中田々しい関連となる説を成果、と発に「国水産師・環の関数によ、晩年地に国を置かしてゐると共に「国水産師・場の関数によ、晩年地では最大の保健 既は明太肝側工場等の用地が居の して面の計構通り實施された場合

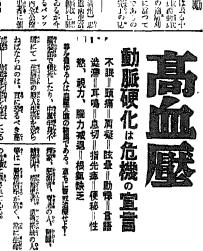
|関南||西湖和面では昭山肥下地||鳥の妙米を樹て運動してゐるが果|

維成行的人本面は、これの面の傍

七七字章 二三条章

はもとより親単會員、青年閣、各「原」する講演會が開催され、防鼓闘員が開催され、防鼓闘員が開催され、防鼓闘員の主旨に帰事的歴史の主旨に帰事のを受ける公司性で参謀が シネマと演劇 任) 就住挨拶のため十七日本社 町小屋投で本年度の前門野野を向 日にある貯水池に落りて間がしたといまる十三日午後二時期同里人 ▲金田北道知事 十五日次同から [1] 米二十年町である。 趙正正里意達成の三男、東西 幼兒湖死 無世 那只 仁川の簡陽點呼 會美裝水日 實**受位一第** じて應用せられんことも切望す。 (文献書) とい、速かに搭健康体に復するを以つて安装し、速かに搭健康体に復するを以つて安告的、然も完全に業に従いつゝ「モヒ」を設め、然も完全にまにで属モナール」族法と はないして一朝治療を誤り「慢性番人もし不幸にして一朝治療を誤り「慢性 [[]ල 酯鱼 御買上を乞ふ 信用ある時計店百貨店にて 金 遊 金 具 1ルの特徴 六 五 + + (文献班里)

M



ね。あく此の高い風を起してゐる一質のある人、間景叫、中風、学身 がり 一般時代的な性したる 上方代る。中部別以前の男子は棚一般に上間は無の人は勿範、取以素 澁滯==耳鳴==息切==指先蹿==便秘==性 壁元度の特異である。直もに観戒治療せより 中国年身不一種で、肥朝者、智恵の人、韓雄、 等は一層が信仰が高く、常に生命 の危険に聞されてゐる。

を記入し、開想なさい、別に

今間ちに、公下時間の四間と年齢 関例であるから、一刻の関係なく 歌した御歌のならない、恐るべき の 中華、昭治のは直接を高い社 衛の好成績を収めついある。高版 を完成、特別に治療に関本思考的 各人各様の情状に強助せる顕微法 につき音心的気を履けて来たが、一 究所では多年が世とれの言葉は

もので、株に心身勝労・飲酒は、吸一不聴で傾める方は頂ちに検脳の甲 中北 十分解して適当な以供を動知らせ

切れ味の良さ價格の底質 京時刊人们 京大血壓研究所

理想的安全剃刀

專 實 特 許 253 セット

デレット安全制力器をお振っ下さい。を望まると方は正確なる角度を有する制り味の良さと、及の耐久力 (永持ち) の正確は切れ味の生命線!

ドンバ年萬 野行を美み二 七物族出す

防空講演會「二川」

顧客 萬年と銘打つ偽物さへ有り 業界迷惑一方ならず ダイヤ工業所製

に御注意!

二七物を毀らず川 信用ある店は 製所業工ヤイダ

组织

受信、全然元排、整理程度を着しく体質をしむ 数挿し本同使用――一箇にて右の症状を主取 近、胃臓虚害、維熱疾患。全然不治、情寒に 神神を胸、食物不能、情味になられる事を似めてることなく現代なるとなく現代なる ・「本際は船間になく文雑品が押職器は見る如き倒ち中継

聖代替化學的時



惡ブロ七名≧引致

防婦人會で

材質に献金 して受けたがその信頼

召喚さる

三付左記茲集要項御水知ノ上御申込被成下度候今回常社培養新株式五萬武千株ノ內五千株ヲ公挙致候

某係長も身邊危し

一死は判然せず

女中さんも献金

俗的な講習會

過度の國境が大塔が作で開放と交

金簪を抜き取

_

第靈回拂 込株金

但數人條定間擴發之多,更當的物學後也一 宣林二付金 拾武川 五拾錢也

入確

λ

碹

定體操金確 定期日

(利息)前され 中込證據金振替 但) 佐川県 日本田県 田和拾貳中六月参拾日

╮

願

λ

决

定

方

法

_,

申

込證據

┐

串

込

方

法 金

申

込

間

申

込

受

付 期

場

腁

物鮮電氣株式會社 同年六月武拾五日迄トス昭和 拾武年 六月 武拾日ヨリ 日本面標金三八利息ラガセス 守株二 付金武山五拾銭山 _____

公

夢夢

數

、 查株ノ額面超過金額、 申 込 株 數 單 位、申 込 株 數 單 位、 查 株 ノ 額 面 金額

工学は「食物味式互流心にはノウ」 在「常像地」本文語所在地タル語川度域 は近了地震地」於大語並了東版タナス 金五拾園也 徐 栄 金七週五拾銭以上

致シマス 清津府及城津邑以外ノ遠隔地ニハ 御語求ニ依リ郵送申込證用紙ハ申込受付塲所ニ於テ御渡シ致シマス

第臺回 拂込株 金及 額面超過金拂込期日 昭和拾述

神神院 老师病專門為

智·日温井醫院 食品 日 温 井 醫院 TO CERCUSA ON

※回題中 家 具 原が明晌子は子は和 遊取前有り幹に安保は安安 近取前有り幹に安保は安安 京城武命町三丁目 「京城武命町三丁目 女中で人工産品に

地 犬 「ケ甲・吐) # 大 「丁ルドック!!!

卸問屋

より

女子事務員採用

御門物は金華饅頭を

大猫 浜地一のされ飲食の

特別窜内

昭士卿用の方は

協會で對策を考究

正直クレヨン・ **杜雷式铁细划部汽本日。 如**

計,發送條實服於朝於的效地 最大大萬一切指4個第一分日717年4月14日 長崎屋支店

外務計員化時

町塀練區峇下市京東

0 錠(1 回) 0 錠(1 回)

37-438(O)





越後 獅

六月二十二日 日 闘 第二 福 井 八 丸 メ ハ

九日

 $\widehat{\mathbf{f}}$

:・ () 書演 整新文化とで 同三時 新球点合質品 (※山) 後 田中寒泉文リ / 好 同四時 ニュース外(※山) 海北 同四時 ニュース外(※山) 海北

子供と家庭の時間

語)レコード音樂(京城) 同一〇時 地方(のニユース 同九時(東)管絃樂付・瀏唱・

『講談社の繪本』は、 右の東郷

> 痛

> > **②** 武田發費品

○免疫物質の産生作用○發育抑制乃至殺菌作用 F 糖衣錠

「尿路疾患に用ひて特殊の治療價値を見る)しむるを以て、急性のみならず塩急性並tめ、白血球數を著しく増加せしめて喰菌tめ、体細胞を活潑ならしめ病原菌に對する持額的救菌滑遊作用を禁むと同時に非 斯峰维丽夫 店商衞兵长田武譜 町本市京東 店商衛兵新西小譜

元 寶 發 店理代東湖



其の香!其の味!其の醉心地!



は呼ばれた、カードの(イ)の一その日の恋に、正思から併発餓 人名なのである。

郎

らなければ

歷安丸

コダの野で

『若い時にや、好きでやりました

日獨交離放送 7 F

ル七時五〇分

お山のお猿

岬教育のために 大事なお子様の

居りました。この二頭の馬は毎日

なし、また物と感覚する本能も見

ります。その八十八年の生態の郷族は、どこをとっても東郷元帥は、東西古令にわたつて養人もない母の架将であ

この繪本を見る

行も、信義も勇氣も、仁愛も元帥の奪い大精神に感化され



ع

Ø 時

朝鮮郵船艇出机

鮮

閰

配板の島々の中のある小品に **親馬子馬** 安倍

日本新聞品出來 行。自己先 轉時 2000年 行。中央人 標準 2000年 行。平安人 標準 2000年 1000年 1000年

大盛一時間司

何川路毎日級

区局流船出机

在原外位的影響也 (田河城等用位話) 係地語五九

面質